

## ◆計画日程スケジュール

第1回	6月度協議
-----	-------

◆議案名	: ブリッジ チャレンジトリップ	
◆部会名/部会長氏名	: チャレンジトリップ部会/児玉工	
◆文書作成者/役職	: 部会長/児玉工	◆作成日時: 2024/5/23

## 事業内容

1	実施日時	2023年11月～2024年4月
2	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央市民センター:福岡市中央区赤坂 2-5-8</li> <li>中村学園大学:福岡市城南区別府 5-7-1</li> <li>海の中道 青少年海の家:福岡県福岡市東区大字西戸崎(海の中道海浜公園内)</li> <li>城南市民センター:福岡市城南区片江 5-3-25</li> </ul>
3	事業の参加予定者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団員:60名(15名×4団)(小学5年生～高校3年生)</li> <li>・引率者 12名(団長1名・副団長2名×4団)(大学生及び社会人)</li> <li>・ボランティア:約40名</li> </ul>
4	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>①引率者として安全第一に団員を派遣先へ引率し、団員のチャレンジを近い立場で支援するための知識を身に付けてもらう。</li> <li>②団員の不安を取り除くと共に、出国前に全員の意識を高める。</li> <li>③団員が派遣先で、安全かつ充実した経験ができるようにサポートする。</li> <li>④団員が異なる国の文化や習慣を直接肌で感じ、学んだこと・感じたことを帰国後振り返ることで、福岡のこども達による国際交流をより推進するきっかけとする。</li> </ul>
5	外部協力者・団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠入哲司先生</li> <li>・中村学園大学</li> <li>・JTB、西鉄旅行</li> </ul>
6	事業内容 (目的達成のための手法説明)	<p>●目的①引率者として安全第一に団員を派遣先へ引率し、団員のチャレンジを近い立場で支援するための知識を身に付けてもらう。</p> <p>【引率者研修】12月23日(土)・1月7日(日)・3月3日(日) 引率者に APCC とは何か、チャレンジトリップとは何か、引率者に求められるもの、過去の研修内容や、派遣先で起きた具体的な事例などを知ってもらい、今後の研修および派遣先で役立ててもらおうための研修を行う。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・APCC とチャレンジトリップについての概要説明</li> <li>・ボランティア登録についての説明</li> <li>・研修スケジュールおよび内容についての説明</li> <li>・引率者ガイドラインの読み合わせ</li> <li>・団員への研修の準備</li> <li>・危機管理に対する対応 等</li> </ul> <p>●目的②団員の不安を取り除くと共に、出国前に全員の意識を高める。</p> <p>【全体研修会】1月21日(日) 団員全員が集まる初めての研修会である。そのため、団員と共に行動する引率者の紹介や、チャレンジトリップの目的の確認、研修の意義を伝える式典を行う。 そして、不安や緊張を持って研修会に参加する団員も多いため、団として楽しい雰囲気を作り、今後の活動に繋がる関係を構築する。 また、国際交流を行う上で、自分自身の事をしっかりと相手に伝えることの大切さについて、遠入先生に講話をしていただく。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式典を開催する。内容については添付資料⑥参照。</li> <li>・遠入先生による講話(30分程度)(講師及び講話内容について 添付資料⑬)</li> <li>・チャレンジトリップの目的の共有(団員だけでなく保護者へも伝える)</li> <li>・団内で自己紹介、アイスブレイキング 等</li> <li>・派遣先について、旅行会社より説明 等</li> </ul>

		<p><b>【結団式】 3月10日(日)</b>  結団式は、全ての団員が揃う最後の研修である。出国前に参加者全員の意識を高め、チャレンジトリップの目的を再確認できる式典を行う。  そして、現地でのスケジュールやパフォーマンスについて確認を行い、出発前の確認を行う。</p> <p>〈内容〉  ・式典を開催する。内容については添付資料⑪参照。  ・チャレンジトリップの目的を再確認(団員だけでなく保護者へも伝える)  ・決意表明  ・フライトの時間、持ち物、現地のスケジュールの確認  ・保護者へのパフォーマンス披露  ・保護者への最終説明の実施 等</p> <p>●目的③団員が派遣先で、安全かつ充実した経験ができるようにサポートする。</p> <p><b>【サポートスタッフ研修】 12月23日(土)</b>  事前研修等で各団のサポートスタッフをしていただくボランティアを対象とした研修。引率者、団員をどのようにサポートし、どのように関わればよいのかを考えてもらうための研修を行う。</p> <p>〈内容〉  ・サポートスタッフの説明  ・サポートスタッフとして団とどのように関わるかについてのケーススタディー  ・サポートスタッフ経験者からの経験談 等</p> <p><b>【宿泊研修】 2月23日(祝・金)～24日(土)</b>  派遣先を想定した宿泊を伴う研修である。研修中は、各団で決めた集団行動のルールで活動し、団員のみで行動することが無いように注意しながら活動を行う。また、寝食を共にすることにより団員同士や引率者との仲を深めるきっかけとする。</p> <p>〈内容〉  ・バスでの移動を飛行機に見立て、現地を想定したシミュレーションの実施  ・宿泊を通して、団員が自分で判断し、スケジュールに沿って動けるように指導  ・全体研修やリーダー研修で他団の団員と交流を図ることにより、新しい仲間をつくる  ・他、国別研修での活動 等</p> <p><b>【国別研修】 2月4日(日)・4月14日(日)</b>  ○出国前の国別研修。  各団で決めた活動を行う研修。その中で、より効果的な交流を行うために日本の習慣や文化と相手の国を学ぶ機会を設ける。また、現地で行うパフォーマンスの練習を行い、団として一つの目標に向かいながら、結束力を高める。</p> <p>〈内容〉  ・団で活動することで団員、引率者間の関係構築  ・現地や日本についての学習  ・現地で行うパフォーマンスの練習  ・自己紹介用のアルバム作成 等</p> <p>○帰国後の国別研修  各団で決めた活動を行う研修。主に報告会に向けた準備を行う。</p> <p>〈内容〉  ・報告会発表に向けての準備 等</p> <p>●目的④団員が異なる国の文化や習慣を直接肌で感じ、学んだこと・感じたことを帰国後振り返ることで、福岡の子ども達による国際交流をより推進するきっかけとする。</p> <p><b>【報告会】 4月28日(日)</b>  報告会は派遣後に団員が集まり、現地で学んだことなどを、保護者を含む自分のまわりの人々に伝える研修である。団員がそれぞれの目標を持って、活動したことをテーマに沿って報告し、2023年度のチャレンジトリップ修了の節目となる式典を開催する。また、団員達が派遣先での体験をもとにした報告をうけ、遠入先生に講演をしていただく。</p> <p>〈内容〉  ・式典を開催する。内容については添付資料⑬参照。  ・現地で学んだこと、活動内容の報告  ・遠入先生による講話(10～20分程度) 等</p>
7	事業のタイムスケジュール	各事業添付資料参照
8	事業実施までのスケジュール	11月02日(木) 第1回引率者説明会 11月11日(土) 第2回引率者説明会

		<p>11月18日(土) 団員保護者説明会  12月09日(土) 引率者面接  12月10日(日) 引率者面接  12月23日(土) 第1回引率者研修・サポートスタッフ研修  01月07日(日) 大学生引率者研修・第2回引率者研修・部会  01月21日(日) 全体研修  02月04日(日) 第1回国別研修会・リーダー研修  02月23日(祝・金)～02月24日(土) 宿泊研修  03月03日(日) 第3回引率者研修会・部会  03月10日(日) 結団式  03月25日(月)～04月05日(金) 派遣期間  04月14日(日) 第2回国別研修・部会  04月28日(日) 報告会</p>
9	事業目的達成の検証	<p>●目的①引率者として安全第一に団員を派遣先へ引率し、団員のチャレンジに近い立場で支援するための知識を身に付けてもらう。</p> <p>① 事業目的に達した点  引率者アンケートの引率者研修の問いで、『満足』と『やや満足』と答えられた方が、第1回引率者研修～第3回引率者研修の全てで72.8%となり、残りも『満足でない』に振れた回答は無かった為、引率者としての知識は身につけていただけることが出来た。</p> <p>② 事業目的に達しなかった点  引率者アンケートの引率者間で困ったことの問いで、少数ではあるが、主に若年層の引率者に引率者としての自覚が感じられない場面があったとの記載があり、引率者としての知識のみではなく自覚もしっかりと伝える時間を取るべきであった。</p> <p>●目的②団員の不安を取り除くと共に、出国前に全員の意識を高める。</p> <p>① 事業目的に達した点  団員アンケートのフリー記入にてホームステイに対して前向きな意見が全体研修では84%、結団式では93%と多くの団員の不安を取り除き、意識を高めることが出来た。</p> <p>② 事業目的に達しなかった点  全体研修では8名、決断式は3名ではあるが、全員の不安を取り除き、意識を高めることは出来なかった。</p> <p>●目的③団員が派遣先で、安全かつ充実した経験ができるようにサポートする。</p> <p>① 事業目的に達した点  団員の宿泊研修のアンケート①移動シミュレーションを通して、入出国のイメージをつかむことが出来たか？の問いに『しっかり出来た』の方向が88.1%と回答しており、『出来なかった』の方向に回答した方は0であったこと。また、宿泊研修のアンケート②、移動の際、引率者の指示に従い現地を想定した行動をとることが出来たか？の問いに『しっかり出来た』の方向が89.8%と回答しており、『出来なかった』の方に回答した方向は1.7%であったこと。さらに、現地アンケート⑤出発前の研修は派遣中の活動に役に立ちましたか？の問いに86.5%の団員が『はい』の方向に回答し、『いいえ』の方向は0であったこと。これらの事から、団員が派遣先で、安全かつ充実した経験ができるようにサポートすることが出来た。</p> <p>② 事業目的に達しなかった点  特に無</p> <p>●目的④団員が異なる国の文化や習慣を直接肌で感じ、学んだこと・感じたことを帰国後振り返ることで、福岡のこども達による国際交流をより推進するきっかけとする。</p> <p>① 事業目的に達した点  団員の現地アンケートの①チャレンジトリップに参加して感じたことの問いで、『海外に興味を持った』89.3%、『英語や外国語を勉強したくなった』73.2%、また、⑨のチャレンジトリップにまた参加したいか？の問いで『はい』の回答が89.8%となったこと、さらに、保護者アンケートの⑨今後チャレンジトリップに申込みようとしている方へのメッセージの記入では『子どもが海外に興味を持ち英語を勉強するようになった』や『異文化を楽しむようになった』『英検準1級の取得を目標にした』等がみられることから、福岡のこども達による国際交流をより推進するきっかけとすることが出来た。</p> <p>② 事業目的に達しなかった点  特に無。</p>
10	実施上の問題点	<p>① 予算上の問題点（予備費を利用した場合は、その理由を記載する）  特になし</p>

		<p>② 運営上の問題点</p> <p>●連絡網の件。 ・フリーのサポートボランティアについて。 今回はサポートボランティアの配置決めで、各研修や式典への出席が多い方を各団専属のサポートボランティアとし、配置決めの段階で出欠の連絡がなかった方や、各研修や式典への欠席が多かった方は、各団専属のサポートではなくスポットでのサポートや運営側の手伝いをしていただくようにした。研修初期で各団の連絡網が作られ、運営側でも連絡網を作っていなかったことから、フリーのサポートスタッフに対して、各研修での各団や、運営の行動の情報が入らず、モチベーションの低下に繋がる場面があった。</p> <p>・部会全体について。 部会全体での情報共有はGメールでの案内をしていたが、メールの確認頻度が少ない方に、急な予定変更等の連絡が伝わっていない事があった。</p> <p>●開催日の件。 2月23日24日の宿泊研修、3月3日の第3回引率者研修そして3月10日の結団式と3週連続で開催することとなり、参加いただくボランティアに負担をかけすぎてしまった。</p> <p>●大学生引率者研修の件。 大学生の引率者向けに、口頭で伝えるのみであったが、引率者の心得を過去の事例を基にした内容で実施したが、十分に伝わっていない引率者もいた。</p> <p>③ その他の問題点</p> <p>●引率者の現地宿泊部屋の件。 これまでツインとシングルを確保されており、今回はツインに宿泊される引率者にシングルへの変更も可能だが、費用はツインに宿泊される引率者負担とした。1回のみ全員シングルとなったが、引率者間で負担金に差が出ることで不満になった。</p> <p>●携帯電話の取り扱いの件。 携帯電話の持ち込みは、チャレンジトリップの趣旨から外れるとして禁止しているが、ルールを守り携帯を持ってきていない団員が、携帯を持ってきていた団員との差を感じて落ち込む場面があった。また、携帯電話のモバイルバッテリーをスーツケースに入れていた事で団の行動に支障がでてしまった。</p>
11	次年度への引継ぎ事項	<p>① 予算上の引継ぎ コロナ禍を経て開催したため、備品(スピーカーなど)が故障していたり、紛失していたりしていた。事前に備品などを確認し、故障している場合にはその分の予算確保を検討したほうが良い。</p> <p>② 運営上の引継ぎ</p> <p>●連絡網の件。 ・フリーのサポートボランティアについて フリーのボランティアの方の役割や情報共有の方法を検討した方が良い。 (基本的にすべての部会ボランティアにどこかの団についてもらったり、運営側(プレ部会)のサポートメンバーとして活動してもらったりすること等を検討する。)</p> <p>・部会全体について。 部会全体での情報共有はメンバーの使用頻度が高いツールでの構築、そして、緊急の連絡は個別に電話で周知する等を検討した方が良い。 誰が見たのか見てないのか分かるような方法で、連絡をするよう工夫する。</p> <p>●開催日の件。 2週間空けての開催が望ましい。</p> <p>●大学生引率者研修の件。 大学生の引率者向けの研修を複数回開催や、資料等を用いて、行動指針(心構え)を伝えるような研修を実施する等の検討をした方が良い。 (宿泊研修前、出発前なども開催を検討する)</p> <p>③ その他の引継ぎ</p> <p>●引率者の現地宿泊部屋の件。 誰かの負担が増える話ではあるが、現地で団員の引率に心身共に万全な状態で臨んでもらうために、引率者それぞれにシングルの手配を検討した方が良い。 また、感染症対策のことも踏まえ、引率者がそれぞれ一部屋あれば、隔離用にも使用できるため各自に部屋があったほうが良い。</p> <p>●携帯電話の取り扱いの件。 携帯電話の持ち込みを禁止とした場合、ルールを守っている団員が傷つくような状況を作らないように、そして、団の行動に支障が出ないように、現地で引率者が携帯を見つけた場合の統一したルール等を検討したほうが良い。</p>

## 過去の議論の流れ

12	執行部 MTG での意見 (対応策が練られていない場合でも意見は記載しておく)	<b>【6月度】</b>
		(意見) 携帯については方向性を決めたほうが良いのでは？
		(対応) 携帯は子どもにとっても生活必需品になっているため、募集の段階で検討する。
		(意見) 来年度以降、引率者の部屋は全員シングル対応を検討する。
13	実行委員会での意見	<b>【6月度】</b>
		(意見) ※意見を記入
		(対応) ※対応を記入
		(意見)
		(対応)

## 対象資料一覧

### ◆配布資料・回覧資料

資料名	
1	収支決算書
2	添付 1: 団員向け アンケート結果まとめ
3	添付 2: 引率者向け アンケート結果まとめ
4	添付 3: 保護者向け アンケート結果まとめ
5	

## BRIDGE KIDS PROGRAMS 2023 事業報告書

## 収支決算書

## (収入の部)

科目	細目	予算額(a)	実績額(b)	差額(a-b)	摘要
	実行委員会より	827,000	789,142	37,858	
	収入計	827,000	789,142	37,858	

## (支出の部)

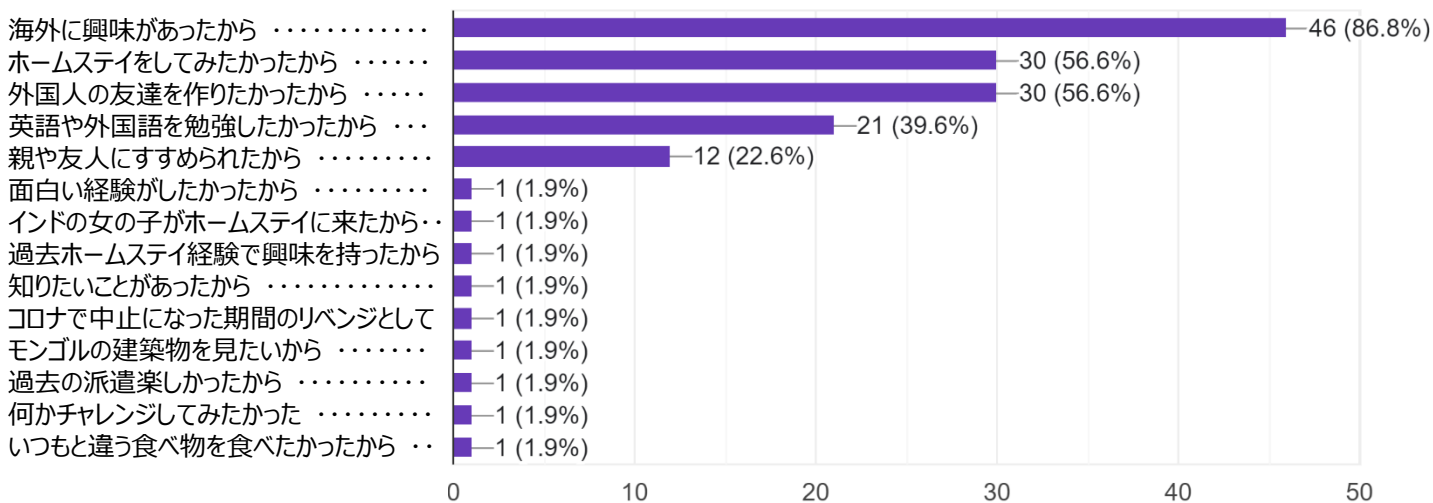
科目	細目	予算額(a)	実績額(b)	差額(a-b)	摘要
会場設営 関係費	会場借上費	162,300	189,760	△ 27,460	・入園料 ¥16,280 ・宿泊料 ¥43,250 ・日帰り利用料 ¥1,190 ・宿泊税 ¥19,000 ・シーツクリーニング代 ¥19,950 ・全体研修(中村学園) ¥90,090円
	会場設備費	5,000	2,830	2,170	・研修部屋利用 ¥2,190 ・ゴミ処理代 ¥640
事業運営 関係費	運営費	20,000	12,866	7,134	国内活動費 ・モンゴル ¥4,474 ・シンガポール ¥3,190 ・モルディブ ¥3,972 ・韓国 ¥1,230
	旅費交通費	189,140	183,330	5,810	宿泊研修 バス代 ¥180,640 ・引率者研修②搬入車用駐車場代 ……300円 ・全体研修 ¥1,000 ・宿泊研修 ¥1,090 ・結団式 ¥300
	飲食費	259,000	255,290	3,710	講師昼食代 ¥980 報告会 来賓お茶代 ¥560 宿泊研修 食費 ¥253,750
	レンタル料	0	0	0	
	運送費	0	0	0	
	通信費	30,788	37,370	△ 6,582	団員 決定通知送付 ¥8,400 報告集 発送 ¥28,080 その他 通信費 ¥890
	事業材料費	25,460	29,888	△ 4,428	・A4ファイル ¥3,542 ・アルバム台紙(10枚入り) ¥110×21 ¥2,310 ・アルバムリング(13個入り) ¥110円×6 ¥660 ・報告会用ポスター: 110円×4 ¥440 ・団長 名刺 ¥3,080 ・スピーカー(4団体) ¥19,856
	保険料	15,564	15,768	△ 204	宿泊研修 保険(団員) ¥13,140 宿泊研修 保険(引率者) ¥2,628
	支払手数料	2,860	330	2,530	宿泊研修 バス代 ¥110 宿泊研修 保険料 ¥110 宿泊研修 施設利用代 ¥110
講師関係費	支払報酬	0	0	0	
	旅費交通費	2,160	0	2,160	
広報関係費	印刷費	0	0	0	
	作成費	74,296	61,710	12,586	・報告集 ¥650(税別)×82部 ・団長(4名分) ¥3,080
	広告宣伝費	0	0	0	
	雑費	1,830	0	1,830	
	予備費	38,602	0	38,602	
	支出計	827,000	789,142	37,858	
	収支差額	0	0	0	

【備考】

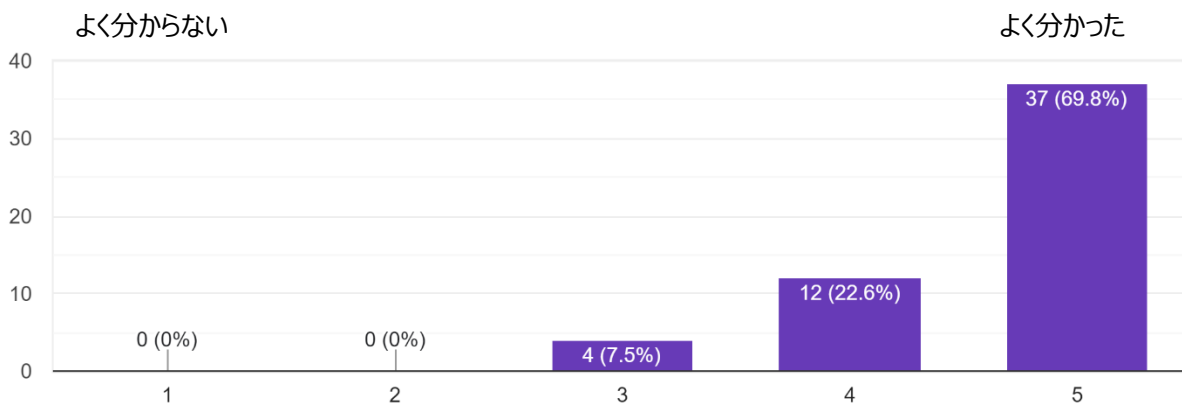
## 添付 1： 団員向け アンケート結果まとめ

### 【全体研修】

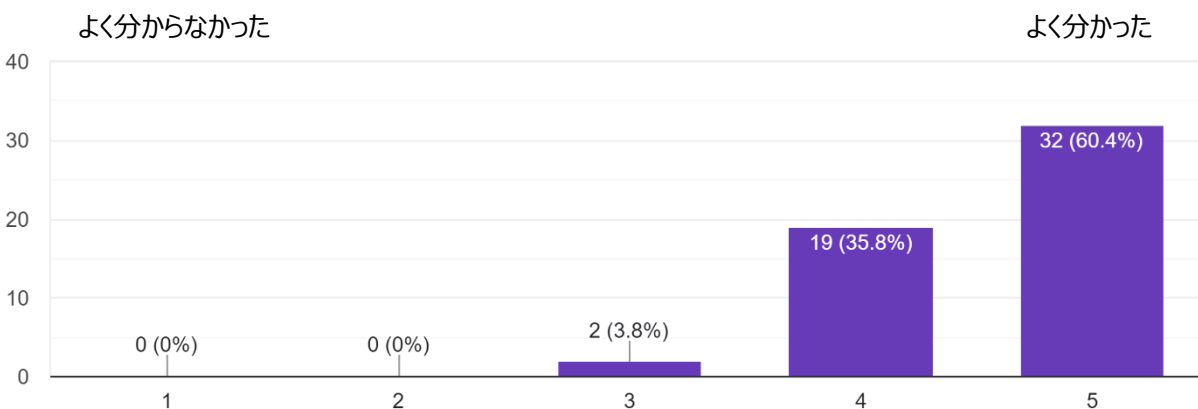
①チャレンジトリップに参加しようと思った理由は何ですか？ ※複数回答



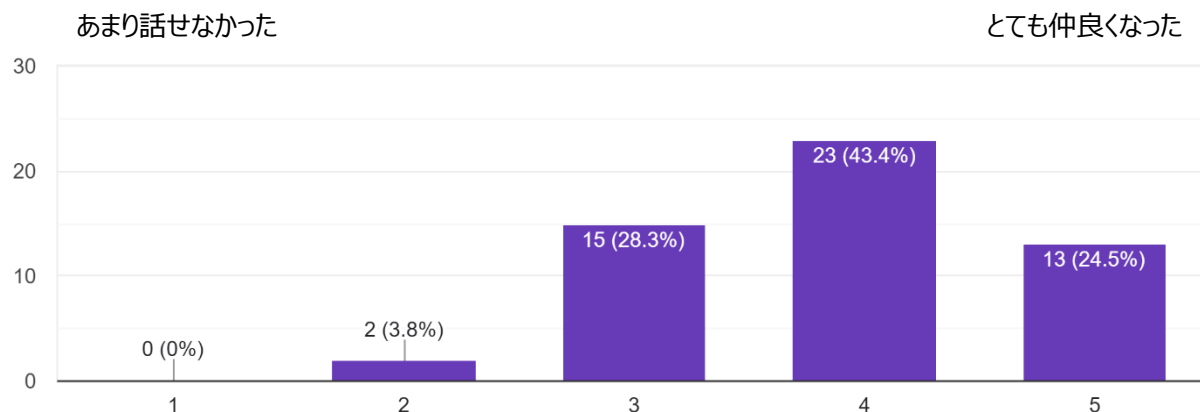
②チャレンジトリップの目的や、研修の意義がわかりましたか？



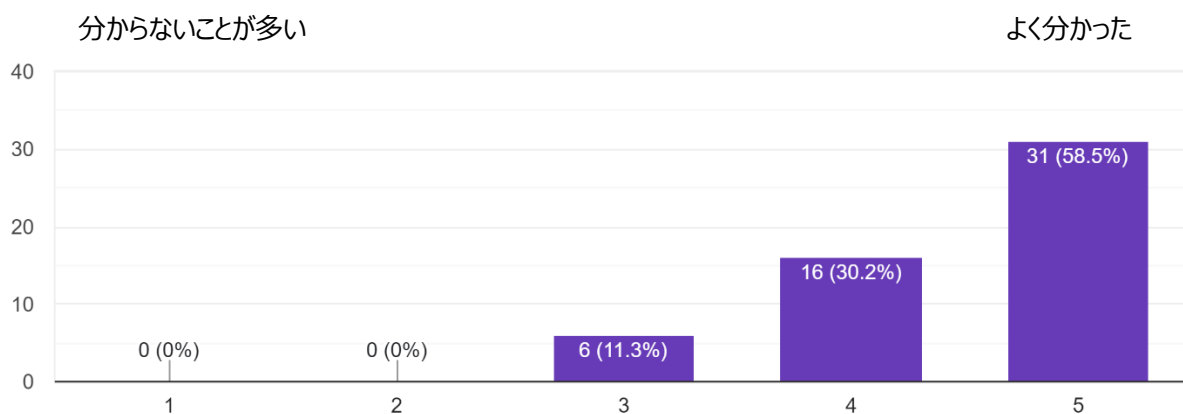
③遠入先生のお話はどうでしたか？



④ 団長・副団長や同じ団の人と仲良くなれましたか？

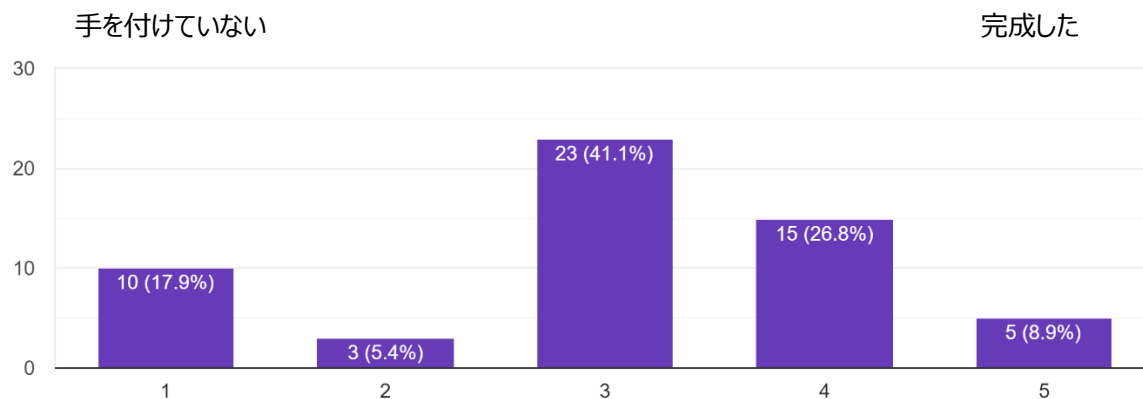


⑤ これから研修や自宅でどんな準備をしていく必要があるかわかりましたか？



### 【国別研修】

① お土産やアルバムなどの制作物の準備は進みましたか？

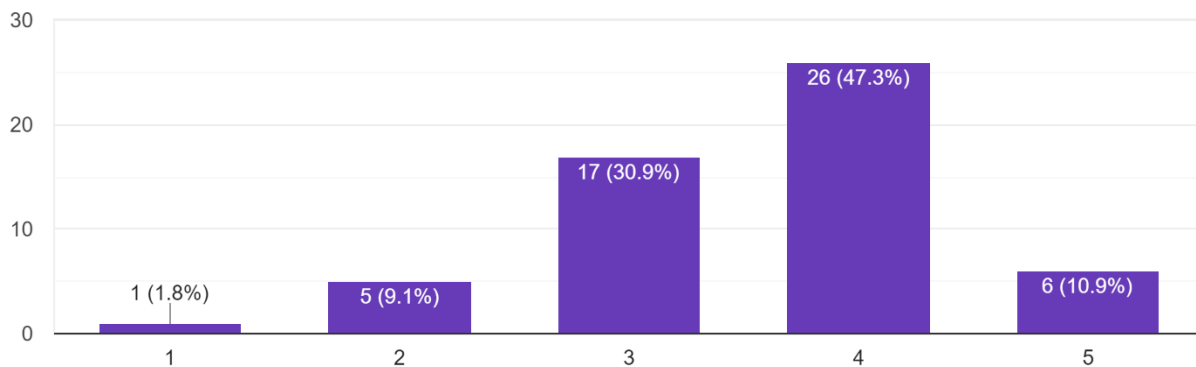




②現地や日本についての理解は深まりましたか？

分からないことが多い

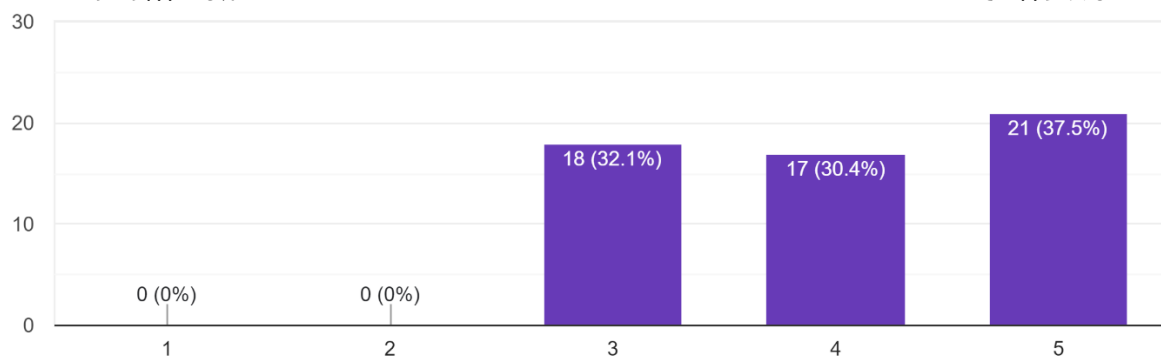
とても深まった



③団長・副団長や同じ団の人と仲良くなれましたか？

あまり話せなかった

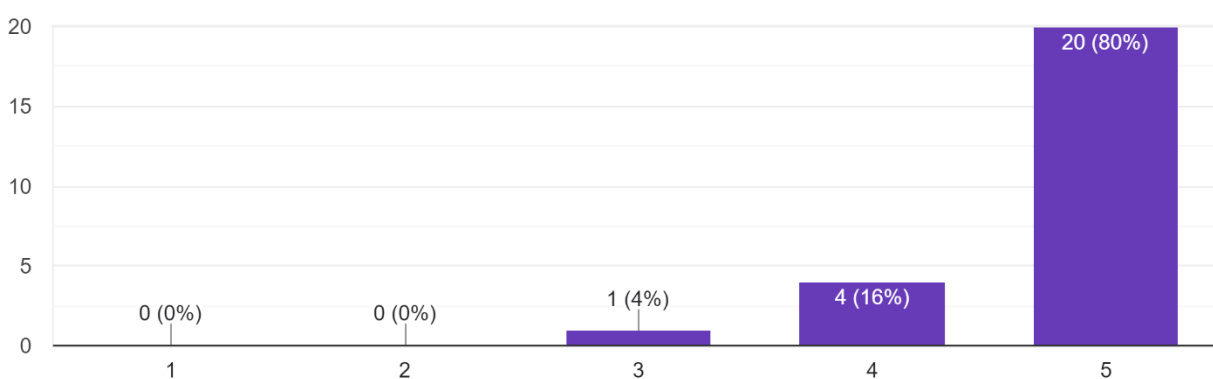
とても仲良くなれた



④（高校生のみ回答）リーダー研修の内容は理解できましたか？

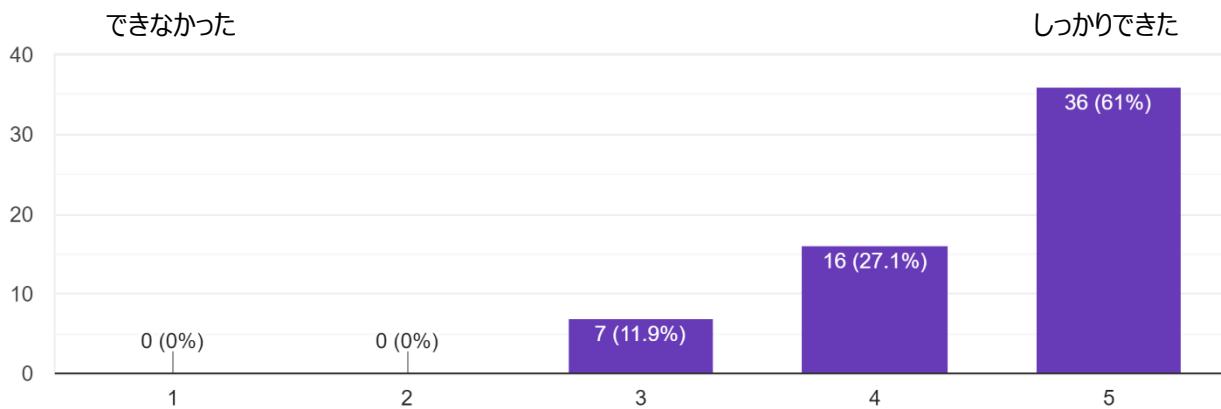
よく分からなかった

よく理解できた

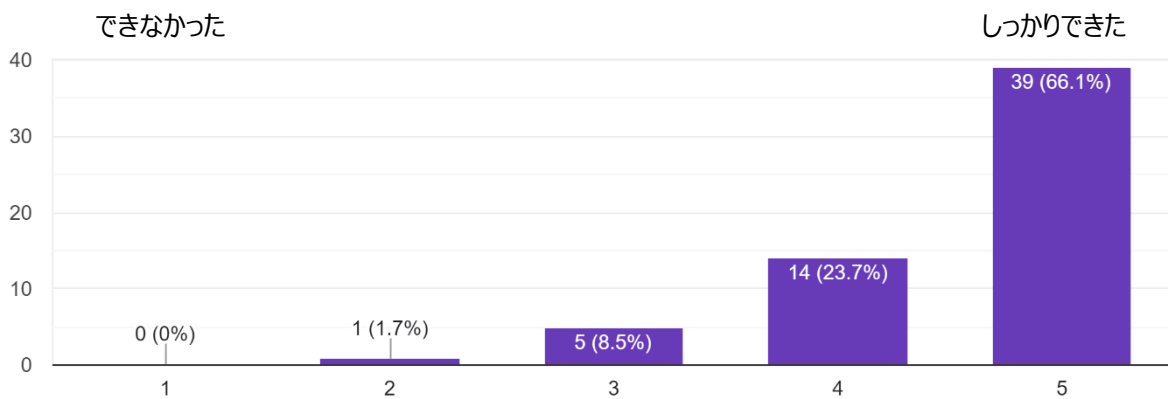


## 【宿泊研修】

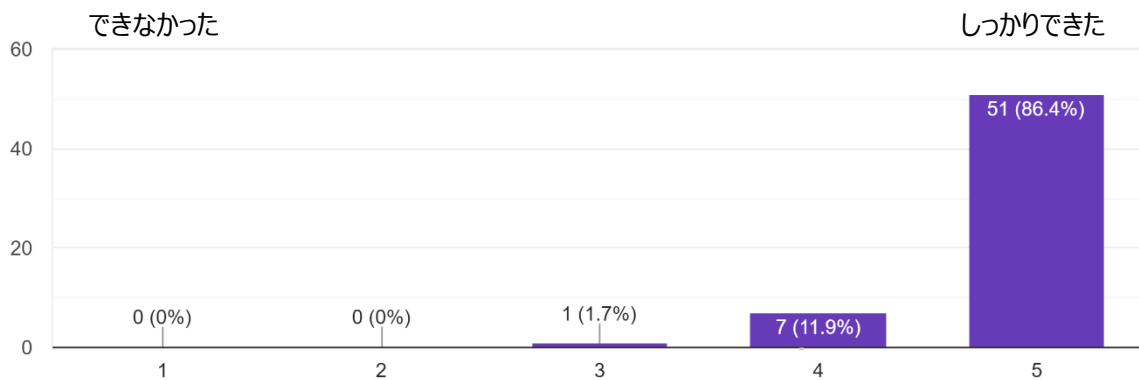
①移動シミュレーションを通して、出入国のイメージをつかむことができましたか？



②食堂・宿泊室・入浴・トイレなどの移動の際、団長・副団長の指示に従い、現地を想定した行動を取ることができましたか？

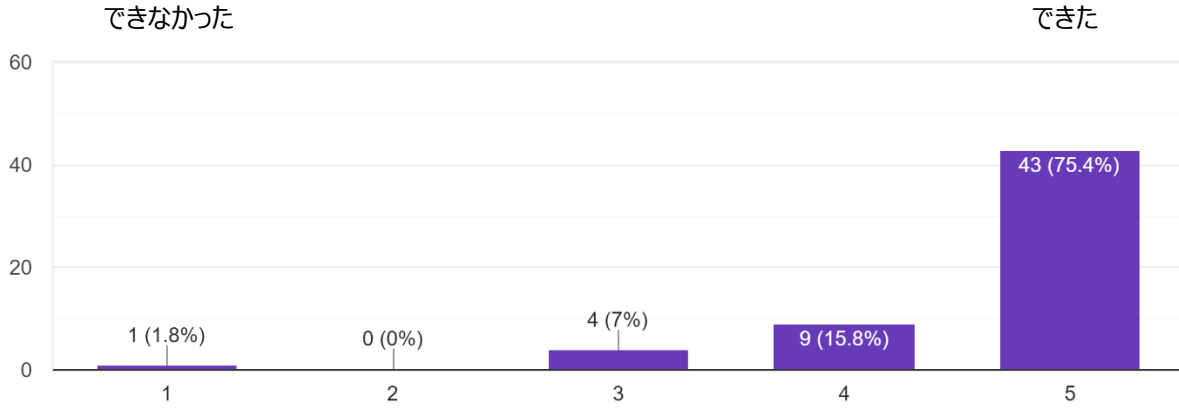


⑤宿泊研修を通して、団長・副団長や同じ団の人と協力しながら活動することができましたか？

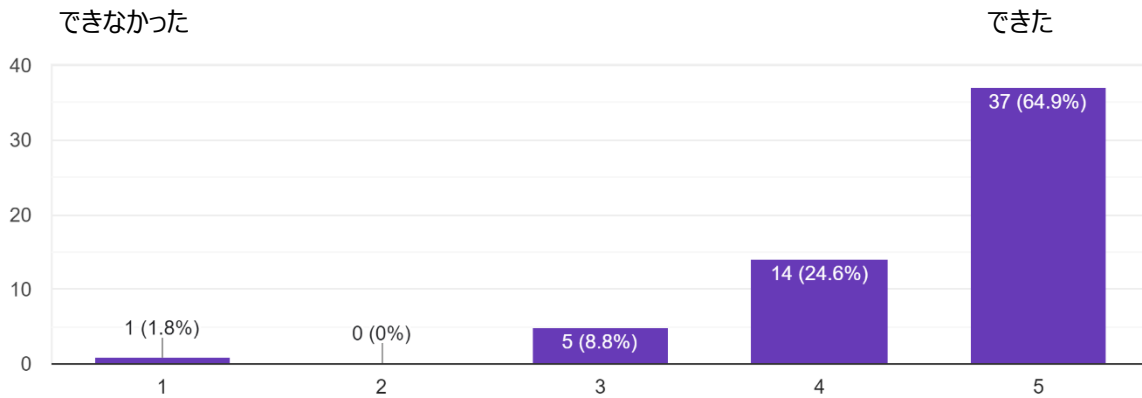


**【結団式】**

①チャレンジトリップの目的を改めて確認できましたか？

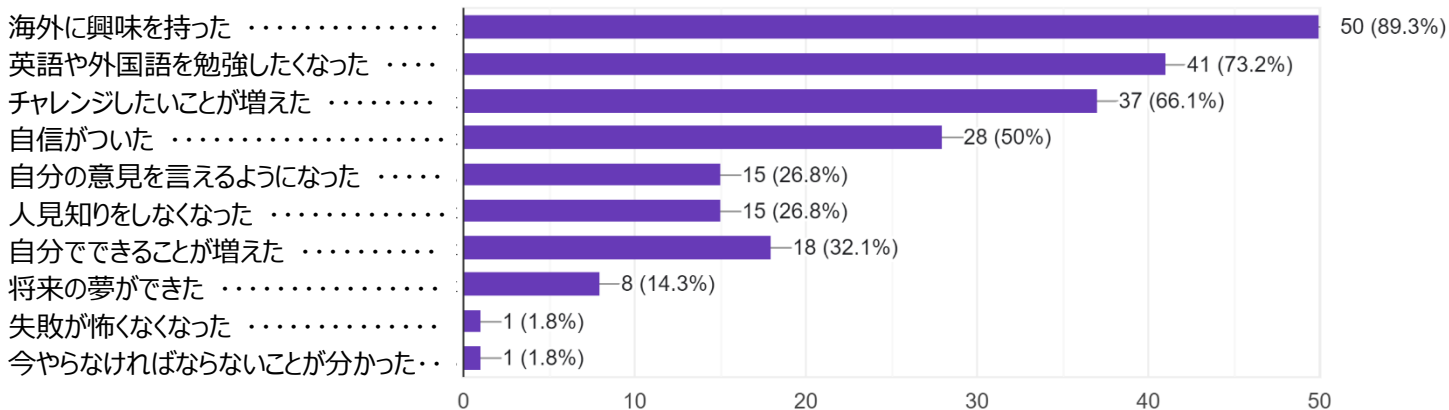


②フライトの時間、持ち物、現地でのスケジュールを確認できましたか？

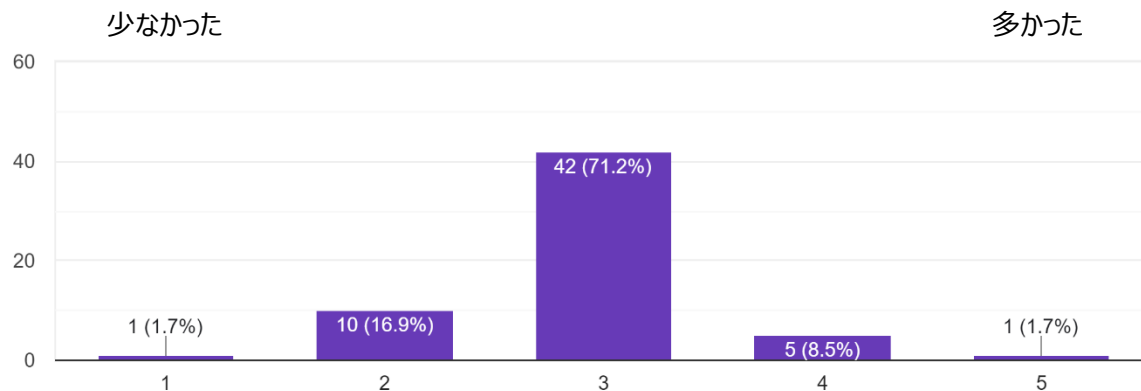


**【現地 活動アンケート】**

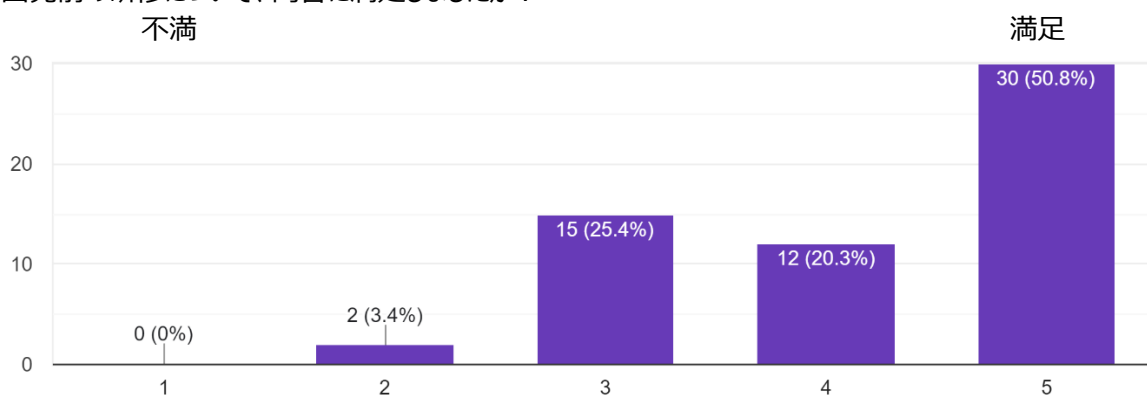
①チャレンジトリップに参加して感じたことを教えてください。



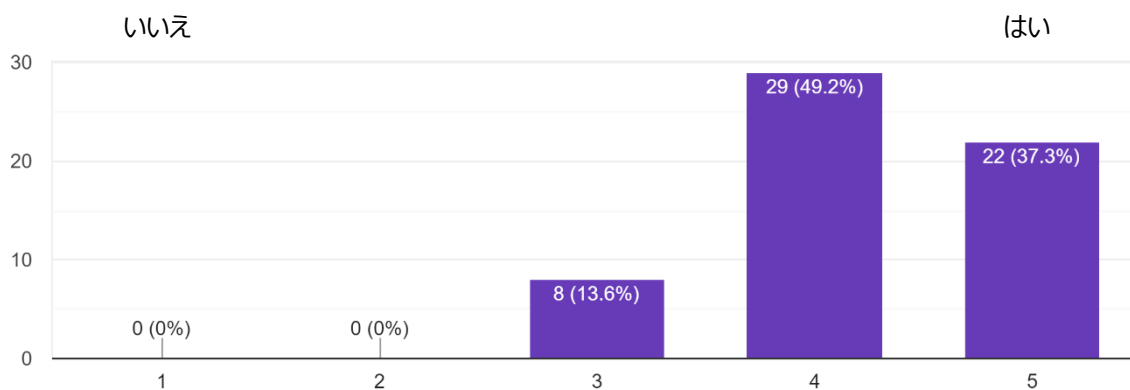
②出発前までの研修の回数はどうでしたか？



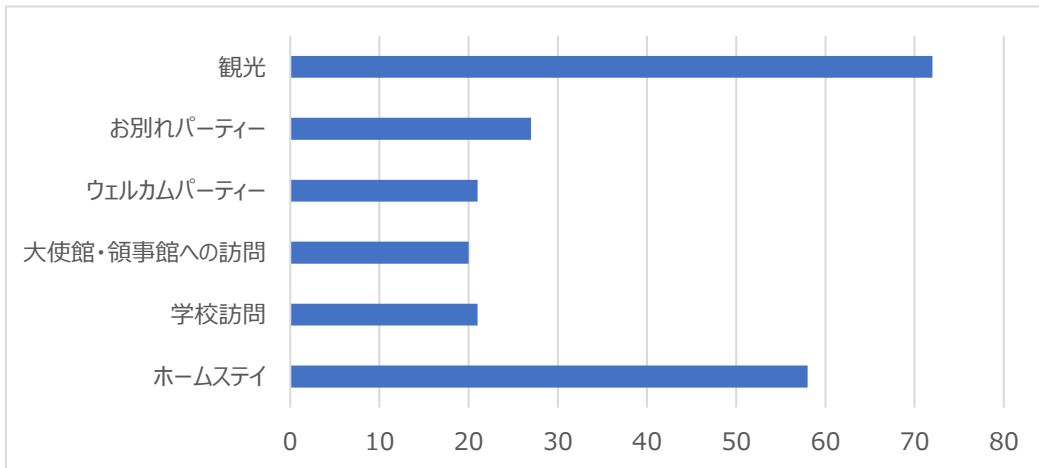
③出発前の研修について、内容に満足しましたか？



④出発前までの研修は派遣中の活動に役に立ちましたか？



⑤現地での活動で楽しかったことは何ですか？

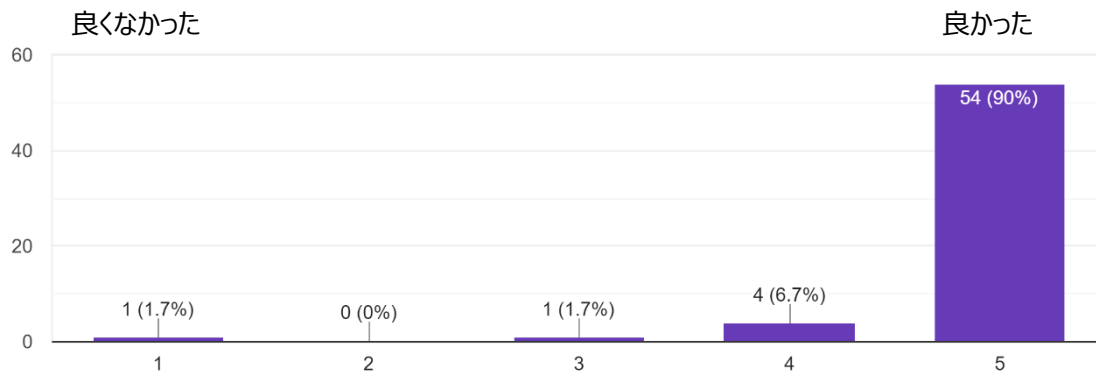


⑥派遣先での現地活動中（ホームステイ含む）に困ったことがあれば教えてください。

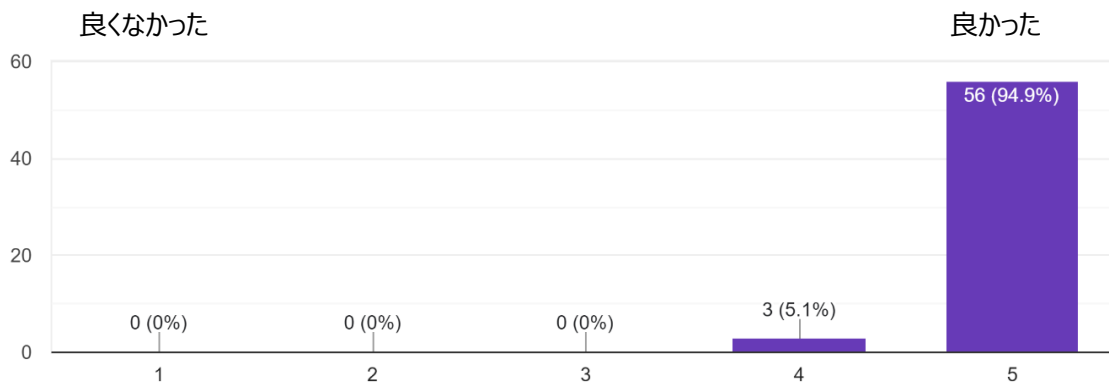
- ・もっと韓国語の勉強しとけば良かった。
- ・毎日夜お風呂（シャワー含む）に入る文化がないようで、入っていいですかと言いつらかった。
- ・食べ物が『辛すぎる』『甘すぎる』
- ・伝えたかったことを、きちんと伝えられなかった。
- ・ガイドの人が『早くまわって！』とずっと言っていて、ゆっくり見る（博物館等）時間があまりなかった。
- ・カメラの充電器が対応している電圧と現地の電圧をしっかりと調べておらず、充電出来なかったこと。
- ・あまりなかったけど、英語があまり喋れなかった。
- ・何日もお腹が痛くなったけど、言い方が分からなくて困った。
- ・ほとんどの食べ物が辛いかわいかわいかのどちらかで大変だった。
- ・シンガポール先でのスケジュールが分からなかった。
- ・英語を少し勉強して行ったけど、ホストファミリーは中国語で話していたから言葉が通じなかった。
- ・思ったより英語が分からなかったこと。
- ・夜の間にエアコンの温度が低かったため風邪をひいた。
- ・シャワーの温度の調節が難しく火傷しそうになった。
- ・予定されていたスケジュールが変わった時に、何も聞かされなかったことです。
- ・口に合わない料理があった時『It is good?』と聞かれて、思わず『Yes good!!』と答えてしまい、それをお土産として大量にもらってしまったこと。
- ・英語で自分が伝えたい事が言えなかった。
- ・シャワーからお湯が出なかったこと。
- ・ご飯が辛いのは食べれないと言っても、現地の人と日本人の辛いのが感覚が違ったので、そこが少し困りました。
- ・言葉（英語）が苦手なホストフレンドだったので、意思疎通がしにくかった。
- ・ホストファミリーに自分の言いたい事を伝えるのが難しく困った。
- ・言葉が時々通じなかったのが少し困りました。
- ・英語がうまく分からず、会話が難しかった。
- ・モンゴルでの食事が口に合わなかった。（特に肉料理）
- ・言葉が通じなかった事と、口に合わない食べ物があった事。
- ・お湯の回線が壊れたみたいで、家でお風呂に入れませんでした。1回だけ温泉のような所に行ったけど、日本と勝手が違って大変でした。

## 【報告会】

①各団のポスター展示はいかがでしたか？



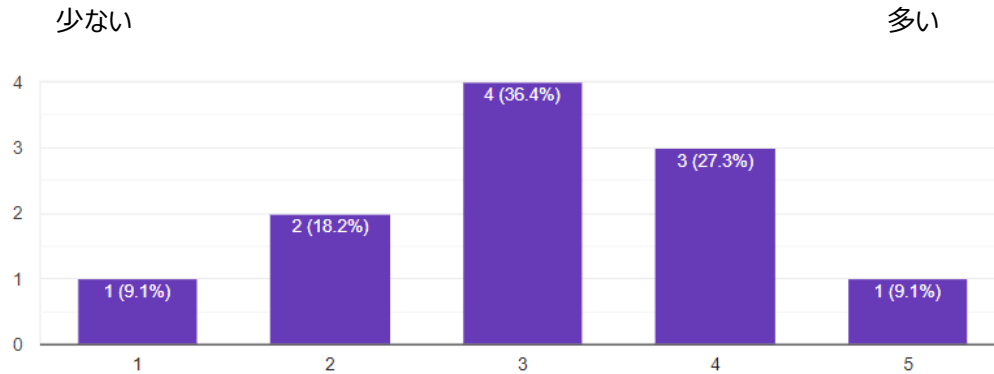
②各団のステージ発表はいかがでしたか？



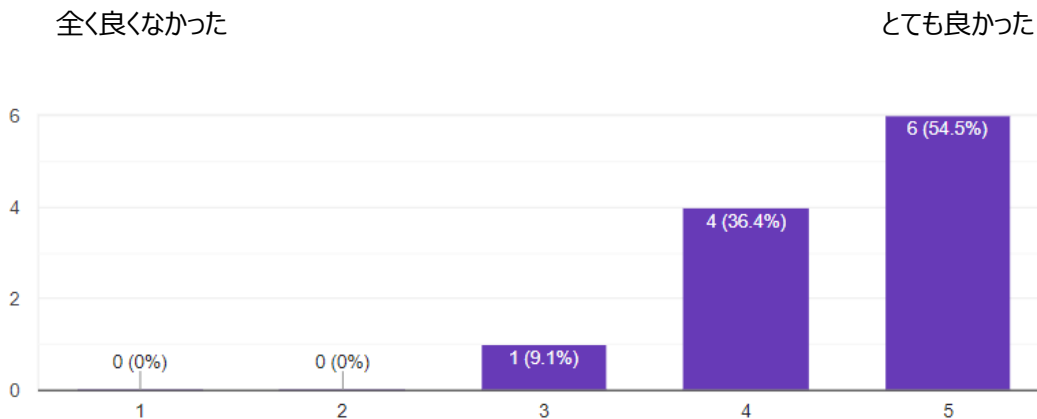
## 添付 2 : 引率者向け向け アンケート結果まとめ

### 【団員への研修について】

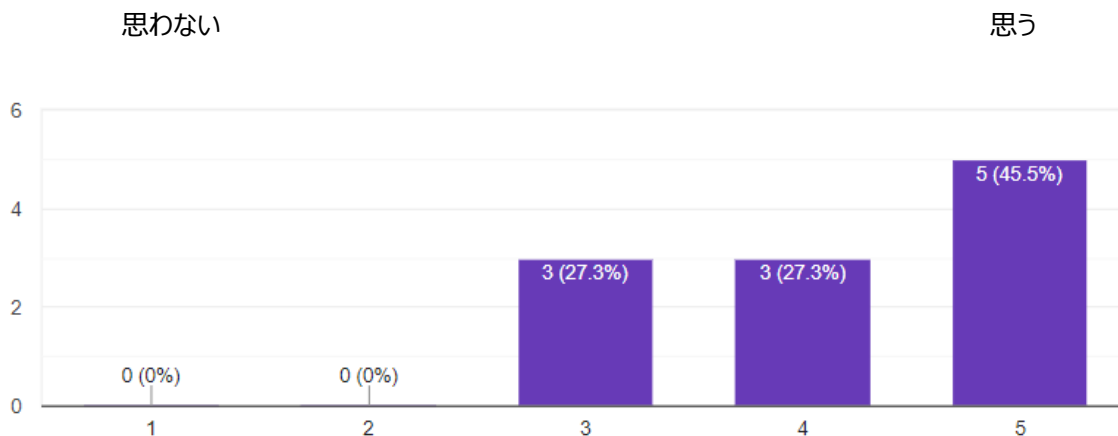
1、研修の頻度はいかがでしたか。



2、遠入先生の講話（全体研修・報告会）はいかがでしたか。



3、国別研修①(2月4日)及び宿泊研修でのリーダー研修について、団員にとってリーダー研修への参加はプラスになったと思いますか。

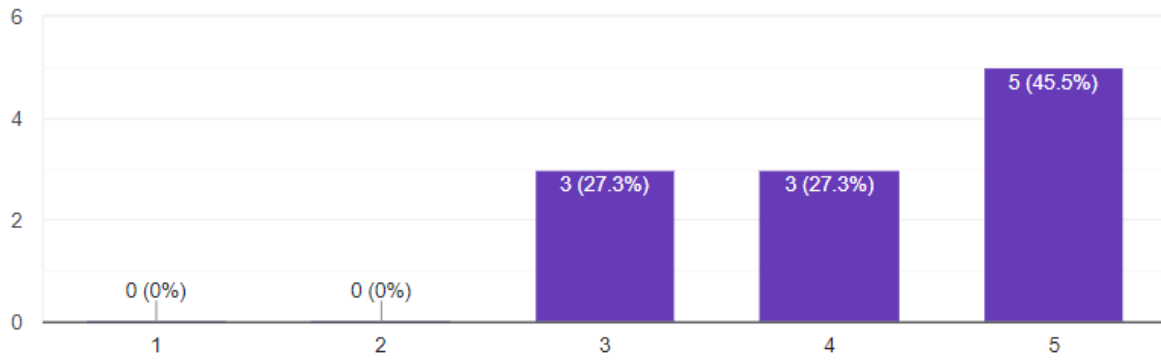


## 【引率者への研修について】

1、第1回引率者研修会はいかがでしたか。

満足でない

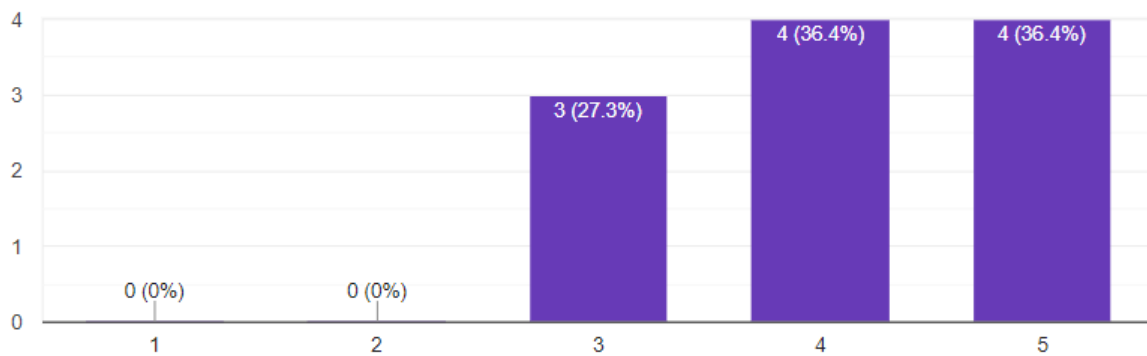
満足



2、第2回引率者研修会はいかがでしたか。

満足でない

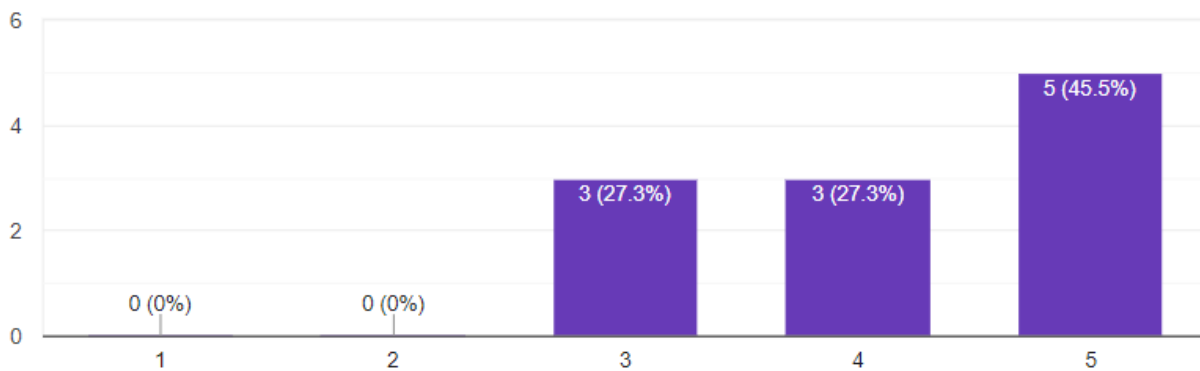
満足



3、第3回引率者研修会はいかがでしたか。

満足でない

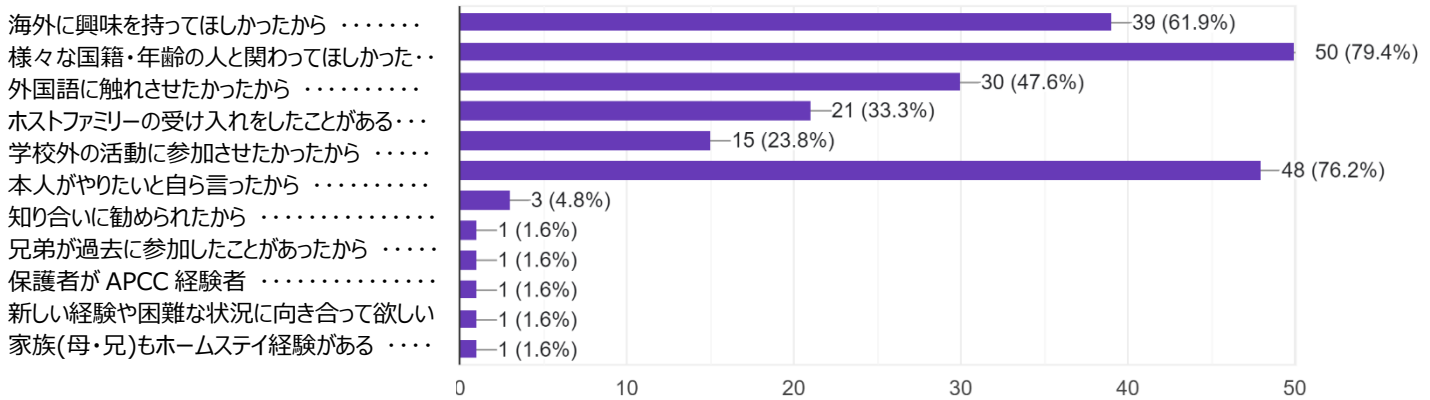
満足



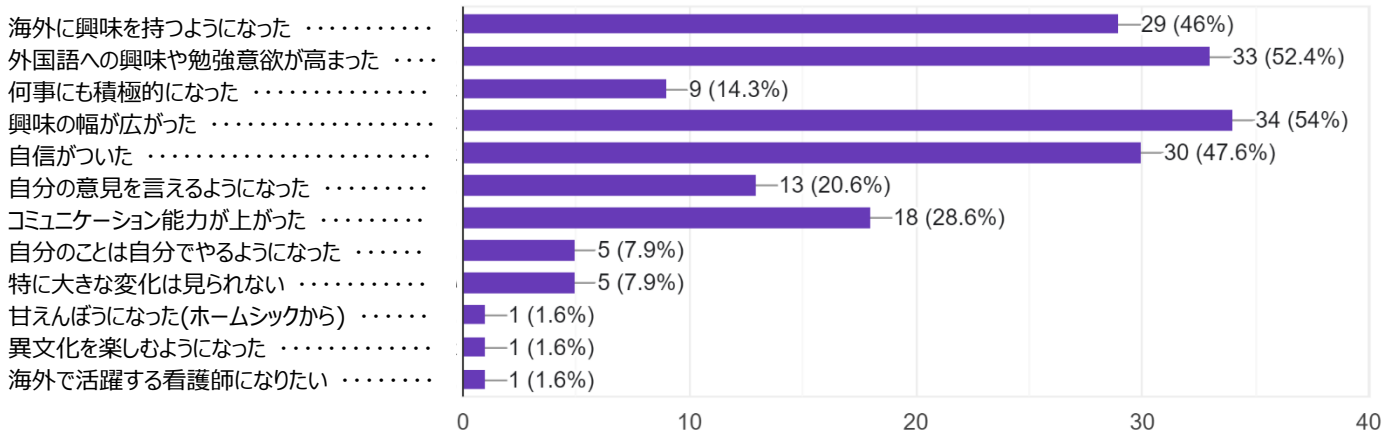


## 添付 3：保護者向け向け アンケート結果まとめ

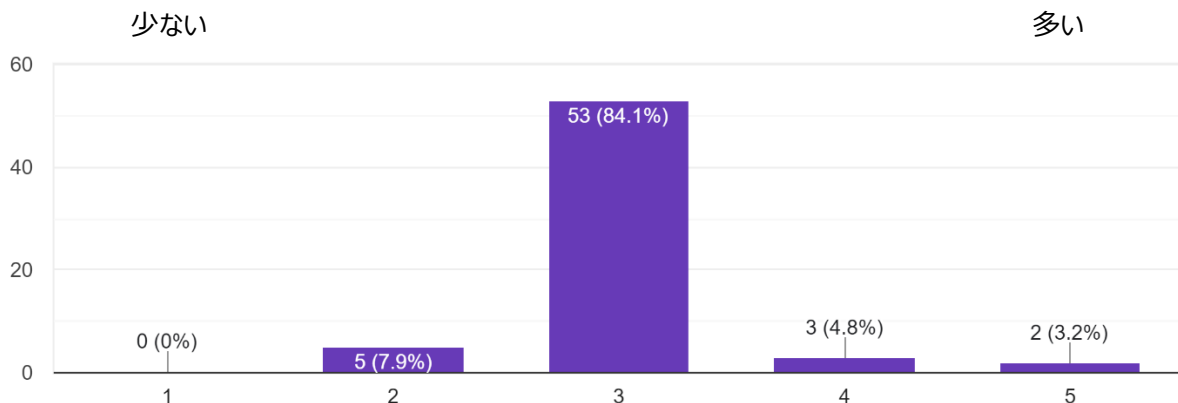
### ① チャレンジトリップに参加させたいと思った理由をお答えください（複数回答可）。



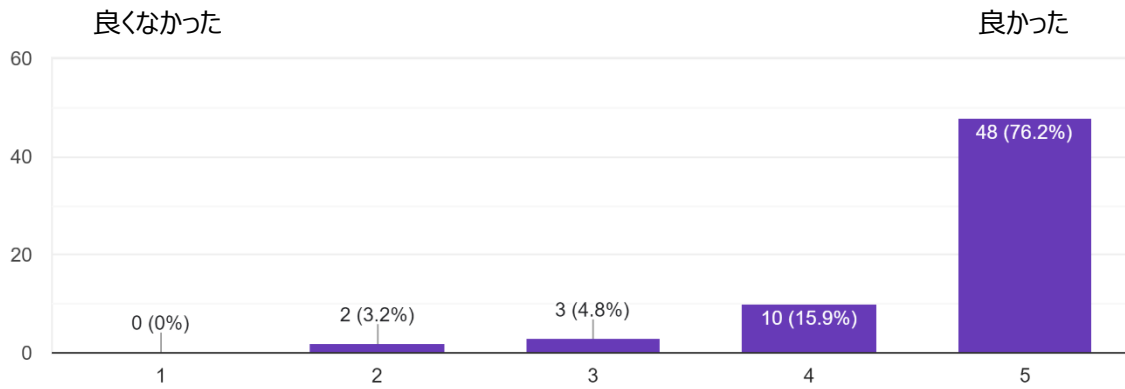
### ② 参加前と参加後のお子様の変化を教えてください（複数回答可）。



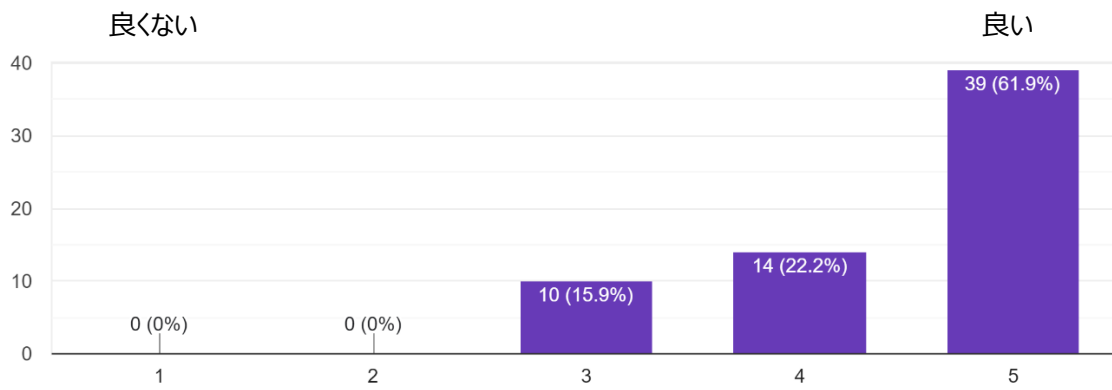
### ③ 派遣前後の研修の回数はいかがでしたか？



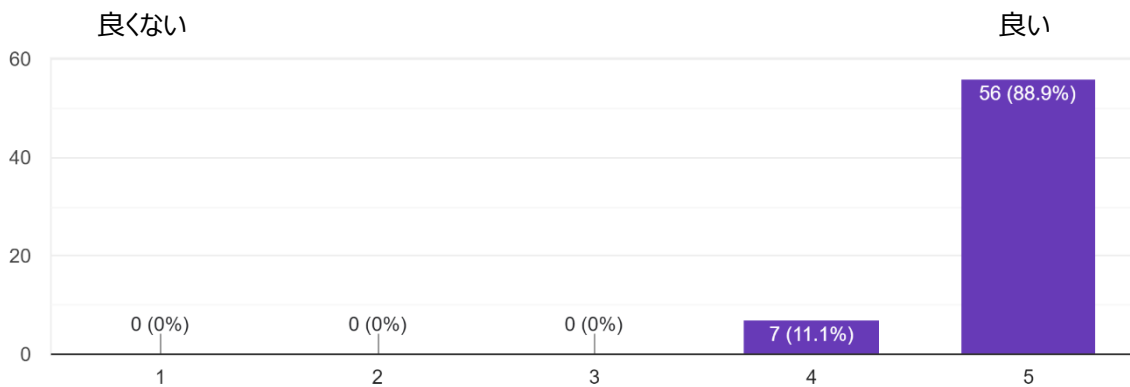
④ 遠入先生の講話はいかがでしたか？



⑤ 各研修・式典の内容はいかがでしたか？



⑦ 引率者の対応はいかがでしたか？



**⑨よろしければ、今後チャレンジトリップを申し込もうと考えている方へのメッセージをご記入ください。（チラシなどにコメントを掲載させていただく可能性があります）**

・チャレンジトリップ後、子どもが海外に興味を持ち、英語を勉強するようになりました。ホストファミリーが本当によい方で、子供にとっては外国にも大好きな人たちができたようです。また言葉が通じない中、ジェスチャーを使ってみたり、英語の単語を並べてみたりとチャレンジをしたようです。5年生で早すぎるかと心配をしていましたが、スポンジのような心で純粋に新しい世界を楽しんでいました。チャレンジトリップに参加することができたのも、国と国が仲良く、また沢山の方が関わって平和の架け橋を作ろうとしてくださったからだと思います。ただ参加して終わりではなく、感謝の思いを忘れずに、見て感じたことをこれからは活かしてほしいと思っています。本当に素晴らしい機会をありがとうございました。

・海外に興味があり英語を勉強していましたが今回参加して英語が話せないと思意思疎通が難しい事を身を持って感じた経験からより一層語学を磨きたいという意思が強くなっています。早速一年以内に英検準一級をとると目標も決めたいです。ホストフレンドとも連絡のやりとりを頻繁にしているのも英語力を磨く一つの手段となっているようです。

・初めての海外、初めての飛行機でしたが、本人がどうしてもホームステイしたいと希望したので応募させていただきました。初めて親元から遠く離れての体験でしたし、英語や外国語も話せず小学校の授業のみ、参加者に知り合いはいないという状態でしたので親としては少し心配していました。渡航前の研修があったのでよかったと思いました。研修では出国審査や、渡航後のことなど丁寧に指導して下さったり、交流イベントなどの準備をしたり大変な中でも充実していたと思います。子どもは楽しく参加していました。研修を重ねるうちに仲間ができ、少しずつ親も子どもも意識がかわっていったように思います。ホームステイ先の家族とは、文化や宗教などの違いもある中でもお互いコミュニケーションが取れていたようで、帰るのが辛くて仕方がなかったと話してくれました。帰国後も親子友共々ホストファミリーと連絡をとっています。

## ボランティアプロモーション部会より

### 2024年6月14日時点のボランティア登録について

- 再登録者数 … 291名
- 新規登録者数 … 302名（第12回ボランティア登録説明会まで終了） **計：593名**
- 部会登録者数（複数部会の登録者含む） … **891名**

#### [内訳]

部会名	現時点での登録者数	5月末の登録者数	昨年の最終登録者数
ウェルカム部会	171名	158名	88名
ファミリー部会	39名	37名	※ウェルカムファミリー部会
オリエンテーション部会	164名	161名	170名
スクールビジット部会	113名	94名	71名
イベント部会	89名	77名	71名
チャレンジトリップ部会	67名	65名	59名
ボランティアプロモーション部会	57名	50名	44名
医療対策室	45名	40名	35名
オンライン交流司会	10名	9名	—
スポットボランティア	219名	190名	172名
以下、一般募集なし			
PAプログラム部会	5名	5名	3名
資金部会	7名	1名	2名
安全管理室	2名	2名	2名
執行部(部会所属なし)	2名	2名	3名

※サマーキャンプ関連部会については、新規募集・再登録の受付終了（2024/6/6）

※8/18(日) 10:30～ 新規登録会を実施予定。ホストファミリーやイベントの一般観覧者にも案内の予定。

Panasonic

9/17 火

2024

【開場】18:00 【開演】19:00  
【会場】福岡シンフォニーホール  
(アクロス福岡)

入場料 A席 5,000円  
B席 3,000円

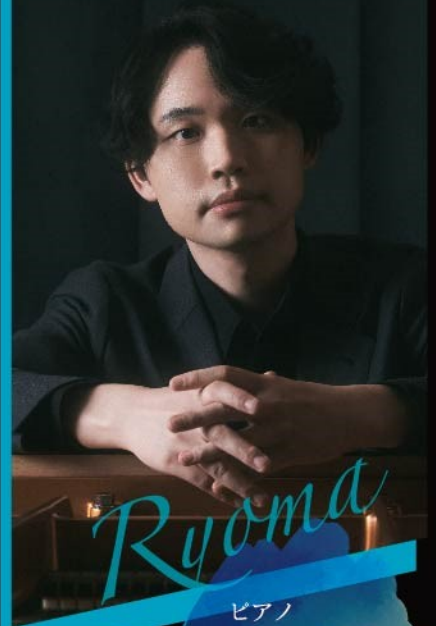
※税込、全席指定  
※小学校入学前のお子様の入場はご遠慮ください。



Yusuke

指揮  
沼尻 竜典

(C)YUSUKE TAKAMURA



Ryoma

ピアノ  
高木 竜馬

(C)Yuji Ueno

アジア太平洋子ども会議・イン福岡  
国連ハビタット福岡本部(アジア太平洋担当) 支援コンサート

# 大阪フィルハーモニー交響楽団 福岡公演 2024

演奏曲目

シベリウス:交響詩「フィンランディア」作品26  
グリーグ:ピアノ協奏曲 イ短調 作品16  
チャイコフスキー:交響曲 第4番 ヘ短調 作品36



(C)飯島 隆

主催:九州パナソニックファミリー会/パナソニック ホールディングス株式会社/公益社団法人大阪フィルハーモニー協会/公益財団法人アクロス福岡

共催:アジア太平洋子ども会議・イン福岡 支援の会

後援:福岡県/福岡市/RKB毎日放送/国連ハビタット福岡本部(アジア太平洋担当)

【チケット取扱い】 アクロス福岡チケットセンター(2F)  
TEL:092-725-9112(10:00~18:00)  
アクロスWEBチケット  
https://www.acrosticket.jp

チケットぴあ(セブンイレブン)  
https://t.pia.jp/  
【Pコード266-404】

劇ナビ@FUKUOKA(ネット予約)  
https://gekinavi.jp



【お問い合わせ】パナソニック コネクト(株) 人事総務本部 社会文化担当 092-477-2763

もっと一緒に! 30<sup>th</sup>  
アクロス福岡  
ACROSS Fukuoka

Conductor

ryusuke numajiri

沼尻 竜典

(C)YUSUKE TAKAMURA



神奈川県フィルハーモニー管弦楽団音楽監督。トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督、びわ湖ホール桂冠芸術監督。ベルリン留学中の1990年、プザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以後、ロンドン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、ベルリン・コンツェルトハウス管、フランス放送フィル、トゥールーズ・キャピトル管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、スロヴァキア・フィル、シドニー響、チャイナ・フィル等、世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内外で数々のポストを歴任。ドイツではリユーベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、劇場専属のリユーベック・フィルとのコンサートの双方において多くの名演を残した。ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・ユミッシェ・オーパー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演。16年間にわたって芸術監督を務めたびわ湖ホールでは、ミハエル・ハンベの新演出による《ニーベルングの指環》を含め、ワーグナー作曲の主要10作品をすべて指揮した。14年には横浜みなとみらいホールの委嘱でオペラ《竹取物語》を作曲・初演、国内外で再演されている。17年紫綬褒章受章。

Pianist

ryoma takagi

高木 竜馬

(C)Yuji Ueno



第16回エドヴァルド・グリーグ国際ピアノコンクールにて優勝及び聴衆賞を受賞し一躍世界的に脚光を浴びる。その他にも第26回ローマ国際ピアノコンクールなど7つの国際コンクールで優勝。オスロフィル、ベルゲンフィル、ウクライナ国立フィル、ウィーン室内管、東京フィル、東京交響楽団、富士山静岡交響楽団、大阪交響楽団、群馬交響楽団、神奈川県フィル等のオーケストラと、ハンス・グラーフ、エドワード・ガードナー、アンドレア・パティストーニ、小林研一郎、秋山和慶、尾高忠明、高岡健、佐渡裕、下野竜也、鈴木優人等の指揮で共演。ウィーン楽友協会やシェーンブルン宮殿等の世界各地の著名なホールで演奏するなど広範な演奏活動を続けている。NHK総合「ピアノの森」では雨宮修平メインピアニスト役で出演した他、映画「アナログ」やテレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK Eテレ「青のオーケストラ」などメディアや音楽祭への出演多数。京都市立芸術大学専任講師に就任し後進の指導にも当たっている。

## 大阪フィルハーモニー交響楽団



(C)飯島 隆

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年に亘り朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務めた。大植英次音楽監督時代には「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014～2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコーヴィチ/交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」の録音で高い評価を得た。

2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2024年4月より、クラリネット奏者のダニエル・オッテンザマーがアーティスト・イン・レジデンスに就任。

2017年度文化庁芸術祭・優秀賞受賞。2017・2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞を2年連続で受賞。2024年1月、最新盤となる「ブルックナー/交響曲第7番」(尾高忠明指揮:2023年1月録音)をフォンテックよりリリース。

<https://www.osaka-phil.com>

誰もが自分らしく生き活きとくらす「サステナブルな共生社会」をめざして。

私たちバナソニックグループは、ものづくりやサービスなどの事業とは異なる方法で、社会課題と直接向き合い、社員一人ひとりが社会貢献活動に取り組んでいます。

【九州バナソニックファミリー会】本コンサートは、九州バナソニックファミリー会が主催しています

バナソニックエンターテインメント&コミュニケーション株式会社 福岡事業場

バナソニックコネクト株式会社 福岡事業場

バナソニック株式会社 エレクトリックワークス社

バナソニックマーケティング ジャパン株式会社

バナソニックホームズ株式会社 九州支社

バナソニックオペレーションズ株式会社 九州支店

バナソニックリビング九州株式会社

バナソニックコネクト株式会社 現場ソリューションカンパニー 九州社

バナソニックカーエレクトロニクス株式会社 西日本支社

バナソニックホームズ北九州株式会社

聞電ファシリティーズ株式会社

NX・NPロジスティクス株式会社 九州支店

バナソニックテクノサービス株式会社 九州支社

バナソニック住宅設備株式会社 北九州工場

バナソニックソリューションテクノロジー株式会社 福岡事業所

バナソニック保険サービス株式会社

バナソニックサイクルテック株式会社 九州支店

バナソニック環境エンジニアリング株式会社 西日本支店 九州営業所

パーソルエクセルHRパートナーズ株式会社

三井住友トラスト・バナソニックファイナンス株式会社 九州支店

バナソニックFSエンジニアリング株式会社

バナソニック防災システムズ株式会社 九州営業所

バナソニックシステムデザイン株式会社

バナソニックファシリティーズ株式会社 九州事業所

バナソニック産機システムズ株式会社 九州支店

株式会社バナソ日本総務部

株式会社キューテック

### 託児サービスのご案内(ご利用無料)

託児サービス(生後4ヶ月から小学校入学前のお子様)をご希望の方は、チケットご購入の後、右記(株)テノ、コーポレーションにお申し込みください。受付は公演前日(土・日・祝日は受付をいたしません)までですが、定員になり次第締め切らせていただくことがあります。

(株)テノ、コーポレーション  
(月～金曜日 9:00～18:00)

☎0120-8000-29 tel. 092-263-8040

●本公演のチケット料金は消費税込みの金額です。●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1名様については、障がい者割引の適用が可能です。お申し込みはアクロス福岡チケットセンターに限りです。また購入に際しましては、障害者手帳が必要です。●車椅子でお越しの方は、優先割引席(4席)がございます。詳しくはアクロス福岡チケットセンターまでお問い合わせください。●小学校入学前のお子様はご入場できません。託児サービス(ご利用無料)を希望される方は、上記をご覧ください。●バルコニー席は、舞台が見づらい場合がございます。ご了承ください。●諸事情により記載内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

アクロス福岡チケットセンター(10:00～18:00)

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1-1 西館2F  
TEL.092-725-9112 FAX.092-725-9102

<https://www.acros.or.jp>

アクロス福岡 検索